

平成 30 年 12 月平戸市教育委員会定例会会議録

区 分	
日 時	平成 30 年 12 月 20 日(月) 午前 9 時 25 分開会 午前 11 時 00 分閉会
場 所	教育委員会 応接室
出席委員	筒井清信委員、戸田眞須美委員、久家孝史委員、宮崎トシ子委員 小川茂敏教育長
出席者	岡 教育次長 大畑理事兼学校教育課長 平松教育総務課長 岩永生涯学習課長 加藤文化交流課長

発言者	質疑等
教育次長	(日程第 1 開会) ただ今から、平成 30 年 12 月平戸市定例教育委員会を始めさせていただきます。 教育長お願いいたします。
教育長	皆さま、おはようございます。 早いもので、今年もあと 11 日となりました。年末の押し迫ったご多用の中にご出席いただきましてありがとうございます。 さて、12 月 3 日に開会した 12 月定例市議会につきましては、14 日に閉会しました。教育委員会関係の議論としましては、2021 年度開設予定の特別支援学校や I C T 教育などについての一般質問があり、また議案としましては、先月本委員会にお示ししました学校施設空調設置事業や特別支援学校開設準備事業経費等の補正予算の計上があり、原案どおり可決されました。 ただ、特別支援学校開設準備事業については、多額の予算が必要となる見込みから、その財源について松浦市などの負担を求める意見が出されたところです。 また、教職員の人事異動につきましては、11 月 28 日、12 月 10 日と県教委も含めた校長ヒヤリングを行ったところであります。 教師個々人の思いや状況に配慮するとともに、学校運営状況を聞かせていただきながら、適材適所、教育環境の充実に向けて、人事作業を進めてまいりたいと存じます。
教育長	それでは日程によりまして、12 月定例教育委員会を始めさせていただきます。

教育長	<p>(日程第2 議事録署名委員の指名について)</p> <p>12月議事録署名委員として、宮崎委員と筒井委員を指名します。よろしいでしょうか。</p>
両委員	はい。
教育長	ありがとうございました。
教育長	<p>(日程第3 議事録の承認について)</p> <p>日程第3 議事録の承認であります。11月定例教育委員会の議事録は、事前に送付しておりましたので、ご確認いただいていると思います。内容について何かございますか。</p>
教育長	<p>(「はい。」の声あり。)</p> <p>特にないようでございますので、11月定例会の議事録は承認することといたします。</p>
教育長	<p>(日程第4 教育長報告について)</p> <p>続きまして、日程第4 教育長報告であります。</p> <p>1ページをお開きください。主なものにつきまして、報告します。</p> <p>11月20日、市教育委員会指定研究発表が大島小学校でありました。この度、教科化となりました道徳の研究指定でありましたが、全校上げての取り組みであり、非常に充実した研究発表でありました。22日には、南部中学校の総合学校訪問を行いました。これをもちまして今年度のすべての学校訪問を終了しました。30日第33回平戸松浦地区人権教育研究大会が町民センターで開催され、教職員や市役所職員、その他多くの市民のみなさんにもご参加いただきました。12月3日から14日まで市議会定例会がございました。9日には、中瀬草原クロスカントリー大会に出席いたしました。18日学校運営協議会検討会とありますのは、コミュニティスクールの各市1校の設置が県から求められているところですが、大島小中学校に設置する方針で協議を進めております。学校、公民館、まちづくり協議会の代表者との協議を行った結果、次年度からの開設をめざすこととなりました。</p> <p>今後の予定です。28日に仕事納め式、明けて1月3日は午後から成人式を挙行します。委員の皆様にもご案内しておりますので、ご出席賜りたいと存じます。また、13日は平戸縦断駅伝大会を予定しております。以上報告します。</p>

教育長	この件につきまして何かお尋ねでもございますか。 （「ありません。」の声あり。） （日程第5 議事）
教育長	続きまして、日程第5議事に移ります。 議案第20号 平戸市運動部活動の在り方に関するガイドラインの策定について、事務局の説明を求めます。
理事兼学校 教育課長	議案第20号 平戸市運動部活動の在り方に関するガイドラインの策定について、ご説明いたします。 以下説明、省略
教育長	説明が終わりました。何かご意見等ございますか。
教育長	そもそもこの種のガイドラインというのはなかったのですか。
理事兼学 校教育課 長	特にないです。例えば、体罰であったりとか、スポーツ障害であったりとか、それぞれ単体ではあったのですが、全般的にというのは今回が初めてとなります。
教育長	今回、ガイドライン策定に至った背景はいかがでしょうか。
理事兼学 校教育課 長	一つはやはり教職員の負担の部分もあり、あとは子どもたちのスポーツ障害の予防の部分の、大きく2つあると思います。
委員	今年、自分の知り合いのお子さんが剣道の部活中に熱中症になったのですが、そのような報告は個別に上がってきているものなのでしょうか。
理事兼学 校教育課 長	熱中症については2件報告がありました。今、委員から話がありましたように、平戸中学校の剣道部の練習中に2人の生徒が1件、あと田平北小学校で水泳をした後に、教室に入って具合が悪くなったというその2件の報告があっております。いずれも救急車で搬送されたそうです。
教育長	ほかにありませんか。
委員	今回のガイドラインですが、運動部活動ということで、体育の時の熱中

理事兼学校 教育課長	<p>症とかそういう部分が趣旨だろうと思うのですが、教職員の超過勤務とかのことを考慮すれば、文化部あたりも同じような関連が出てくるのではないかと思います。もうちょっと拡げますと、小学校の分についても関連性が出てくるのではないかと思います。そのあたりの拡がりというか、今後考えていく必要があるのかなと、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
生涯学習 課長	<p>今のことにつきましては、県の担当課長会議の方でも話題になりました。運動部活動だけではなくて、たとえば中学校の文化部活動、地域によってはブラスバンドの活動がかなり長時間行っているし、会場の確保もいかがなものかということで話題になっているところなんです。これは県の学芸文化課の方で文化部としても運動部活動に準じたような形で今後指導していきたいということで話があります。また、中学校の部活動については超過勤務の働き方改革という点では、当然学校の方では文化部活動の方でも運動部活動の休養日と同様にしているというところが1点です。2点目につきましては、小学校についてもある面かなり問題があるのかなというように思っております。県の体育保健課にも話をしているところですが、同課によりますとスポーツ競技の団体の方に指導したうえで、もしもそれが行き過ぎた状況であったりとか、過度な取組みであったりとかあった場合については、大会等の後援を行わないというような話もっております。以上です。</p>
教育長	<p>ほかにありませんか。</p>
教育長	<p>内容については基本的に国や県に準じた形で調整させていただいておりますが、必要に応じて見直しを行っていくということで処理をさせていただけたらと思います。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい。」の声あり。)</p>
教育長	<p>それでは議案第20号平戸市運動部活動の在り方に関するガイドラインの策定については、原案のとおり可決することに決しました。</p>

教育長	<p>(日程第6 その他)</p> <p>続きまして、日程第6その他に移ります。</p> <p>(1) 共催・後援について事務局の説明を求めます。</p>
生涯学習課長	<p>共催・後援について、説明いたします。</p> <p>説明、省略</p>
教育長	<p>説明が終わりました。何かございますでしょうか。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうかね。</p> <p>(「はい。」の声あり。)</p>
教育長	<p>それでは、共催・後援等については報告済みといたします。</p> <p>次に、(2) 各課長から報告をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>教育総務課です。資料の4ページをご覧ください。</p> <p>実績報告ですが、11月21日は第1回学校給食運営委員会を開催しました。各給食調理場管内の校長先生をはじめ、PTA会長さんにも出席いただきました。主な協議の内容としましては、次年度からの給食費の増額改定案でした。現在、平成26年度から月額が小学校で4,100円、大島地区は4,200円、中学校で4,800円、大島地区は4,900円となっており、5年目を迎えておりますが、食材物資の価格の増により物資の調達に苦慮していることをふまえ、次年度から小学校4,300円、中学校5,000円としたい旨を提案いたしました。結論は持ち越しとなり、来年1月開催の第2回運営委員会で結論をいただくこととなります。同日の夕方からは旧堤小学校跡地利用検討協議会幹事会が開催されました。9月15日号の広報誌で校舎の利用について市内向けに募集を行ったが応募がなかったことを報告し、次の段階として、グラウンドも含めて市のホームページにて広く利用者の募集を行うことで決定し、今週から市のホームページに掲載を行い募集を行っているところであります。29日は会計検査実地検査ということで、会計検査院から調査官がみえられて国庫補助金について、適正に交付されているかということについての検査が行われました。教育総務課・学校教育課関係で、今回、それぞれ平成28年度29年度の特別支援学級に係る対象教諭の人件費に対する義務教育費国庫負担金と小中学校の人体模型や顕微鏡などの理科教育教材に対する理科教育設備整備費補助金が対象でした。担当者は事前に入念に準備を行い、検査に臨みました。おかげ様にて大きな指摘もなく終了いたしました。12月10日は市議会産業建設文教委員会の審査が行われました。案件としましては、先月の定例教育委員会で、</p>

<p>理事兼学校 教育課 長</p>	<p>可決いただきました学校施設空調設置事業や特別支援学校分教室開設準備事業などの一般会計補正予算（第4号）でございまして、いずれの案件も可決いただきました。空調設置に関しましては、設置後の運営にあたっては、空調と扇風機の併用など一定の運用基準を設定し、稼働に努めること。特別支援学校に関しましては、県や松浦市などと十分な連携の下で事業を進めていただきたいとのことであります。以上です。</p> <p>学校教育課です。5ページをご覧ください。</p> <p>まず実績報告ですが、11月20日平戸市研究指定「大島小学校」の研究発表がありました。51名の参加をいただいております。内容といたしましては、道徳の指導方法の普及であるとか、評価の在り方とか大きく2つの柱を中心に研究を進めていただいております。非常にすばらしい発表で、今後の平戸市の道徳教育の礎になる研究発表ではなかったかと思っております。28日は人事2次ヒヤリングが行われました。各校長先生方から次年度の学校経営に向けた人事の希望であるとか、異動該当者の内容であったりとか、そういう話をさせていただきました。29日は会計検査院による会計実地検査が行われました。学校教育課は、特別支援学級についての検査がありました。検査は特別支援学級の子どもたちと普通学級の子どもたちとの交流の状況を中心にヒヤリングがありました。計画どおりに行われているのかとか、子どもの障害の実態に応じて交流が多かったり、特別支援学級での学習が多かったり、子どもの実態によって相違がありますという説明をさせていただきました。12月3日は人権教育研究推進ということで、今年度は中部地区を文部科学省の委託事業の指定をしておりますが、人権講演会を開催しました。小中学生を中心に260名の参加がありました。弓削田さんによる人権関係のコンサートをしていただき、聴くだけのコンサートではなく、今回は子どもたち自ら司会進行をしたということで、弓削田氏も先生方も非常にすばしかったということで評価をいただいているところです。7日は平戸市教育支援委員会を開催しました。来年度の特別支援学級に通級する児童生徒の検討をしていただきました。12日は中野小学校適正規模・適正配置説明会を授業参観後の保護者の皆さんを対象に行いました。内容としましては単に学校統廃合ということもあるけれども、たとえば中野中学校との小中併設又は義務教育学校というようなことも検討の一つとして、考えられるかもしれないというような説明を加えております。18日は学校運営協議会の設置検討について、大島地区で小中学校の校長先生、それから公民館、まちづくり協議会にそれぞれ参加していただきました。今回大島地区としたのは、地区として基盤が整っているということ。それから、すでにコミュニティスクール的な活動を行っているということにより、無理なく活動が可能な地区であるということから決定した次第です。</p>
----------------------------	---

<p>生涯学習 課長</p>	<p>今後の予定です。21日は市内すべての小中学校2学期の終業式が行われます。翌日22日から1月7日までは冬季休業となります。8日が第3学期の始業式が行われます。10日は市町別教育長ヒヤリングということで県教育委員会に出向き、人事に関しまして市側からの説明をさせていただきます。人事担当の指導主事も同行し、平成31年度の人事についての検討を深めたいと思っております。24日は南部中学校の研究指定の中間発表ということで市教委での対応となります。中学校も新しい学習指導要領による指導になりますので、その内容についての研究を進めていこうと考えています。25日は県特別活動研究大会が平戸会場で行われる予定です。以上です。</p> <p>生涯学習課です。6ページをご覧ください。実績報告ですが、11月22日はツーデーウォーク実行委員会がありまして、今年度の反省と来年度の実施に向けての協議が行われました。今回延2,234人の参加で昨年度より166人の増となっております。24日はひらど市民大学が第6回めの講座が行われまして、長崎国際大学の宮原先生をお招きし、「おいしく楽しい食事のための健康」と題してお話がありました。なお、参加人数は27名でした。26日は図書館長が長崎県立図書館の休館式に出席をしております。これは皆様方ご承知のとおり新しい県立図書館が大村市に建設中ではありますが、それに合わせて12月1日をもって県立図書館が閉鎖ということで、休館式が行われております。29日は君川みち子さん、東北弁による昔話の語りについての研修会が行われたところでありまして。28日から30日にかけて、2泊3日で津吉小学校区初めての通学合宿が行われ、21人の児童が参加したところでありまして。30日は平戸・松浦地区人権教育研究大会が行われました。県の吉井先生をお迎えしてでの講演会と3小中学校の報告があっております。同日に第20回県北地域読み聞かせグループ交流会ということで、佐世保、松浦、平戸などの読み聞かせのグループの交流会が行われております。図書館からも職員や図書館司書が参加しております。12月8日から9日にかけて長崎県スポーツ推進委員研究大会が行われ、スポーツ推進委員と職員併せて21人が参加しております。9日は中瀬草原クロスカントリー大会が開催され、576人が参加しております。例年とほぼ横ばいでの参加となっております。同日に木村裕一さん「あらしのよるに」という本で有名な作家と吉澤みかさんという画家の方による講演会が行われました。13日人権教育講座については生月地区で8名の参加により行われております。14日は平戸市生涯学習推進会議を行いまして、ひらど市民大学についての30年度の経過と31年度の事業内容についての協議が行われました。18日は平戸市体育協会第4回三役会ことで、平戸縦断駅伝大会についての協議が行われました。19日は第3回の平戸市社会教育委員会が行われ、社会教育委員会の提言の内容についての協議が深めら</p>
--------------------	--

文化交流課長	<p>れたところでは、同じくその日の夕方はスポーツ推進委員支部長会が行われ、平成 32 年に県の研究大会が平戸市で開催されますので、それに向けた取組み等についての協議が行われました。</p> <p>今後の予定です。22 日に第 4 回平戸市成人式の実行委員会が行われます。また夕方からは第 7 回目のひらど市民大学が行われます。NPO 活動の専門で長崎県立大学の石田 聖先生をお迎えし、「市民参加手法の最前線」と題しまして行われます。1 月 1 日は恒例の第 63 回生月島縦断駅伝大会が 16 チームの参加予定で生月支所を発着として行われます。3 日は成人式が行われます。12 月 17 日現在対象者が 378 名のうち 292 名が出席するとの回答がっておりますが、当日にはもう少し増えるのではないかと見込んでおります。13 日は平戸縦断駅伝大会が行われます。前回 32 チームの参加でしたが、当日が佐世保市で小柳賞ロードレースが開催されるため、学生の参加がどうかと心配しているところです。19 日は平戸市クラブ対抗駅伝フェスティバルが久吹ダム周回コースで行われます。現在申し込み受付中でありまして。以上です。</p> <p>文化交流課分を報告いたします。7 ページをお願いします。</p> <p>まず、実績報告です。11 月 22 日から 27 日にかけて長崎県展移動展公開を行いました。この期間中に 565 名の来場者がっております。23 日から 25 日にかけて平戸市美術展覧会の公開として中南部地区で行っております。期間中 120 名の来場者がっております。24 日は国指定名勝（庭園）「棲霞園及び梅ヶ谷津偕楽園」晩秋の特別公開を行っております。終日天候にも恵まれ 186 名お越しいただいております。12 月 16 日は世界遺産周遊バスツアーを行いました。今回は 15 名の参加でほとんどが市外からの参加者ということです。</p> <p>今後の予定です。11 月 1 日から 30 日まで実施しておりました世界遺産登録記念ライトアップイベント～春日の祈り～ですが、大好評につき約 1 か月間に 4,200 名が春日にお越しいただいております。これからも正月にかけてまして帰省客もお見えになるのではということで、1 月 6 日まで延長することとなっております。それと春日の交流拠点施設の方には約 10,000 人の来場者がっております。12 月 22 日から 27 日にかけてはいきいき交流事業ということで旧生月町が行っていた事業ですが、隔年ごとにそれぞれ気候風土が違う地域を訪ねるということで、北海道枝幸町と交流を行っております。中学生 6 名を連れて文化交流課の職員 2 人で訪問するようにしております。1 月 4 日から 18 日まで姉妹都市交流事業オランダ王国ノールトワイケルハウト市へ高校生 12 名を連れて訪問する予定です。7 日は新春鏡作り木靴絵付け体験を小学生 20 名を対象に行うようにしております。16 日はひらんの風コンサートということで大島神浦地区の伝建 10 周年記念事業として行うようにしております。20 日は毎月開催してい</p>
--------	--

	<p>る世界遺産周遊バスツアーを開催します。24日から25日にかけては文化財防火デーを2日間にわたり実施します。今回は総合防災訓練を光明寺と阿弥陀寺で行うようにしております。それから今年度が伝建選定10周年ということで本市で九州地区のブロック会議が1月31日から2月1日にかけて開催するようになっております。2月9日は本来9月30日に行う予定でしたが台風のため中止となっております。伝建10周年記念クルーズを地元などの要望が強かったことから再度チャレンジし開催するようになっております。同日には国際シンポジウム「国際海洋都市平戸と異文化へのあこがれ 在外史料が変える日本研究」が行われます。2月10日は平戸検定試験の初級、中級、上級がそれぞれ行われます。なお、平戸検定の実施団体であるNPO平戸観光ウェルカムガイドが本年度をもって終了にしたいという意向のようであります。もともとは5年間の予定でありましたが、同団体の好意によりまして10年間続けていただきました。やはり高齢化とスタッフ不足という理由により本年度限りという連絡があっております。今後どのようにしていくかにつきましては、検討課題となっております。以上です。</p>
教育長	<p>はい。以上各課長から報告がありましたけれども、内容等について何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>学校給食について、おたずねです。私の記憶違いかもしれませんが、牛乳やパンに対する国や県からの負担というのは今も変わらずあっているのでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>給食につきましては、すべて保護者負担となっております。</p>
委員	<p>例えば、給食費の改定を提案して中学校を5,000円にした場合、高いなあと思う方もおられるかと思えます。子どもが何人もおられる家庭は大変かと思えます。しかし、日割りをしたら1食あたり250円ですよ。逆に250円で1回食べられるということはそれほど高いものではないかなと思えますね。私がおたずねしたかったのは牛乳とパン代のことでした。それもふくめてこの金額に入っているということですか。</p>
教育総務課長	<p>はい。そうです。給食費というのはあくまでも食材費のみということになります。</p>
教育次長	<p>補足させていただきますと、人件費やその他の経費はこの中には入っておりませんので、2倍以上かかっていることとなります。</p>

教育総務課長	委員のようにご理解いただけますと幸いです。現に先の運営委員会の中でも月額5,000円の声の聞いたら、保護者の方々も抵抗があるのではないかなというご意見もありました。
教育長	ほかにありませんか。
委員	先ほど空調施設の補正予算が可決されたということでありましたけれども。私も南部中学校の評議員でお世話になっている時の話です。8月9日の登校日に平和祈念に関することの学習がいつもあるのですが、ある生徒がいい発表をしているのに、ほかの生徒の皆さんは暑くて下を見ていて生徒の発表はほとんど入ってきていないのではないかなというのを例年感じておりました。しかし、今年度は教室の中に扇風機が整備されてあって、幾分か生徒も集中して発表を聞いているようでした。やはり扇風機がついてあって良かったなと思いました。また、志々伎小学校の特別支援学級も扇風機と空調を上手に使い分けさせていただいているとのことでしたので、本当に補正予算が可決されてよかったなと思いました。感想を述べさせていただきました。
教育総務課長	ありがとうございます。
委員	普通の家庭でもサーキュレーターで効率よく温度をコントロールすることを考えれば、そういう意味合いでも扇風機と空調の併用は非常にいいことではないかなという感じがしております。
委員	中野小学校の適正規模・適正配置の説明会ですが、保護者からはどのような意見があったのでしょうか。
理事兼学校教育課長	まず参加されたのは授業参観の後だったのですが、ほとんどの保護者が出席しておられました。それで、説明した後なかなか意見が出なかったのですが、現在を基準とした場合前後5年間、おおむね児童数が50名くらいで推移し、ほとんど変化がないような資料を提示しました。保護者の意見としてはこのような状況であったら、統廃合ということではなくて、できれば今のままの状況でお願いしたいということでの保護者の総意でした。統廃合に対するご意見はわかりました。説明の途中に、ほかの地区は統廃合というところで進んでいるのですが、中野小学校については小中併設であるとか義務教育学校であったりとかそういうところでのことが考えられるかもしれませんねということに関しましては、異論はありません

	<p>でした。あと現在の施設は改修とかどのようになるのだろうかとかという意見はありました。</p>
教育次長	<p>補足ですが、なぜ統廃合したくないかといいますと、中野地区の方々が協力的で非常によくしてくださるということらしいですね。学校運営がうまくいっているということのようです。今のままのほうが良いということで、やはり地域の支えが大きいみたいだなと感じて帰ってまいりました。</p>
教育長	<p>中野の場合は、小学校にしても中学校にしてもいずれも校舎が老朽化しております。統廃合なのか、小中併設又は義務教育学校的なものかいろんな選択肢がありますが、近いうちに結論を出さないといけないのかなというふうには思っております。</p>
教育長	<p>ほかにありませんか。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうかね。</p> <p>(「はい。」の声あり。)</p>
教育長	<p>それでは、各課長報告につきましては、報告済とさせていただきます。続きまして、教育次長から報告をお願いします。</p>
教育次長	<p>今議会については、12月3日に開会され、平成30年度一般会計補正予算案を始め、条例議案、その他各種の重要案件につきまして、審議いただきました。教育委員会に関する分といたしましては、11月の定例教育委員会で説明をいたしました平成30年度一般会計補正予算中、扇風機設置事業の減額、ブロック塀安全対策事業及び学校施設空調設置事業の増額、並びに特別支援学校分教室開設準備事業の増額につきましては可決していただきましたが、残念ながらオランダ商館の指定管理者の指定については否決という結果となっております。理由につきましては、後ほど文化交流課長から説明をさせます。</p> <p>続きまして、一般質問の内容についてご報告させていただきます。</p> <p>11名の質問者のうち4名の議員から教育委員会に対して質問がありました。</p> <p>まず、松尾議員からは、特別支援学校の開校に向けた現状について、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現状と今後の開校までの予定について ②県、松浦市との対応・連携は ③対象者並びに定員（定数）、福祉との連携、学校環境は ④事業推進に向けての問題、課題は <p>との質問でした。</p>

1点目の現状については、11月の長崎県定例教育委員会で、第4次実施計画が決定され、最初のハードルをクリアしたこと。今後のスケジュールについては、田平中学校の特別教室棟の1階全て及び2階の一部を特別支援学校の施設として活用するため、H30年に度特別教室棟の理科室、パソコン室、家庭科室の撤去及び移設工事の実施設計、平成31年度に、実施設計を基に特別教室の撤去及び移設工事、平成32年度に、特別支援学校の教室等の施設整備のための改修工事、平成33年度に開校の見込みであることをお答えしました。

2点目の県、松浦市との連携では、もっぱら県の特別支援教育推進基本計画第4次実施計画に盛り込んでいただくことに重点を置いた連携を図った点をお答えいたしました。

3点目の定数等では、佐世保特別支援学校北松分教室（小・中学部）は、知的障害を有する児童生徒が就学すること。しかし、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由など重複した障害がある児童生徒の在籍も可能なこと。定数は、1学級あたり6名、ただし重複学級は3名という点、平成33年度の開設では、小学部で19名、中学部で13名の合計32名の児童生徒の就学が見込まれ、小学部7学級、中学部4学級の計11学級が必要であるということをお答えいたしました。

4点目の課題では、登校時の混雑について、特別教室などの共有について、教職員用の駐車場スペースについて、維持管理経費の負担の問題などが協議事項としてあることをお答えしております。

議員から指摘事項として、松浦市から相当数の児童・生徒が通学するのだから改築に伴う費用を平戸市だけで負担するのではなく松浦市とも費用負担の協議をしっかりともらいたいとの要望がありました。

次に井元議員からは、

①学校施設への空調導入について

②地区公民館移転に関しての予算について

との質問でした。

空調導入については、市内小中学校の教室に扇風機を設置したが、なぜ今回空調を導入する方針になったのか。との質問でした。

コスト面、環境面から扇風機の設置を決定したが、本年の夏の記録的な酷暑を考慮し、空調については今後の検討課題と方針を変更したこと。

本年10月15日に国の補正予算が閣議決定され、熱中症対策として冷房設備対応臨時特例交付金という新たな交付金が本年度に限り創設され、通常の交付金を活用した場合と比較すると、市費が50,000千円程度軽減される見込みであること、次年度以降の補助事業としての採択が難しいこと、県内の状況を見てもすべての市で国の補正予算で空調を設置する方針であること、空調設置後のランニングコストは、20,000千円程度のコスト

文化交流 課長	<p>増となること、空調整備後の運用は、扇風機との併用による運用方針を作成することをお答えしました。</p> <p>続きまして、地区公民館移転に関しては、生月地区の各公民館の建設規模等と、「平戸市自治公民館整備等補助金」の内容をお答えしました。</p> <p>次に松本議員からは、少子高齢化の中、地域の活性化に向けた行政の取り組みについてとの中、市内の小中学校の現状を確認する質問がありましたので、今後5年から10年間の児童・生徒数の予測をお答えしました。</p> <p>最後に池田議員からは、事業の必要性についてということでICT教育推進整備事業（タブレット）について質問がありました。ICT（パソコン）の設置状況については、小学校は、その学校で一番人数の多い学級の人数の半分の台数を、中学校は、学校で一番人数の多い学級の人数分の台数を導入しており、平戸市全体で、小学校は、児童1,495人に対し161台、中学校は生徒749人に対し225台の充足数となることをお答えしております。次に、パソコンの活用状況については、国が示す学習指導要領に則った学習内容・学習活動を中心に行い、小学校では、総合的な学習の時間に、中学校では技術科の時間に活用しており、小学校では、「自分の名前や短い文章を入力する。」「文書保存をする。」「WEBページを検索する。」「ソフトを活用して絵を描く。」などを、中学校では、「データの保存形式を変更して保存する。」「プレゼンテーションや簡単なアニメーションなどデジタル作品の設計・制作をする。」などを、その他「学習内容について、映像を視聴して学ぶ。」「収集したデータを元にしてグラフや表に表す。」「自分で作成した資料や収集した情報を加工して、プレゼンテーションや新聞などを作成する。」などに活用していることをお答えしております。次に、パソコンの利用頻度については、小学生の3年～6年生は、パソコン操作などの学習で、年間10～20時間程度、中学生は、情報に関する技術の習得を目標に年間20時間程度のカリキュラムを組んで授業を行い、成績を付けるための評価も行なっていることをお答えしております。ICT教育推進のための教職員研修については、これまでは、学校からの代表者への研修を通して各学校で伝達していたものを、本年度からは、能力にあった操作の研修や各学校で全員参加型の研修を行っており、講師も、教育委員会の指導主事やパソコンソフトのメーカーの専門員が行ない研修の効果が認められるようになってきてことをお答えしております。</p> <p>11月定例教育委員会で可決いただきました平戸オランダ商館の指定管理者の指定については市議会12月定例会では否決となりました。その理由であります。指定管理に伴って平成30年度の一般会計補正予算で今後4年間の指定管理料の債務負担行為補正をお願いしておりました。その</p>
------------	---

	<p>内容としましては、従来単年度で 16,000 千円の指定管理料を計上しておりましたが、どうしても入館者が減少してきていることから 5,000 千円の増額をお願いしました。当方といたしましても当該施設が特殊な場所に立地しており、特に国指定の史跡の上に建っておりまして、施設の復元自体にも多額の国庫補助金を活用し復元をしたということで、それらの施設の活用についても文化庁から一定の規制を強いられている状況にあります。だから、一般の観光施設のような利活用は利用が難しいことを説明いたしましたが、ご理解をいただくことが叶いませんでした。</p> <p>委員会からは、「入場者数の減少が続く中、入館料収入が減少する一方、指定管理料は増額が続いており、何ら改善の検討がなされているとは言い難く、このような状況の中で指定管理料の増額を見込んだ債務負担行為は認めがたい」などの厳しい意見があり、指定管理の前提となる予算措置が否決されたためです。</p> <p>今後の対応としては、3月定例会市議会に向けて、指定管理予定者も含めて協議・検討を行い、議会の理解が得られる努力をしてまいりたいと考えているところでございます。</p>
教育長	報告が終わりましたが、何かございませんか。
教育長	ないようでありますので、その他の平成 30 年度平戸市教育支援委員会における審議結果について報告をお願いします。
理事兼学校教育課長	<p>それでは、平成 30 年度平戸市教育支援委員会における審議結果について報告いたします。</p> <p>説明、省略</p>
教育長	説明が終わりました。何かございますでしょうか。
教育長	特にないようでございますので、その他で何かございますか。
委員	私が学校にお世話になっている頃、平戸市の児童生徒数が年間 80 人ほど減少していると聞いていたような記憶をしておりますが、今後の児童生徒数の推移をお知らせいただけないでしょうか。
理事兼学校教育課長	小学校が来年度から順に 1,485 名、1,457 名、1,439 名、1,406 名、1,378 名で、平成 36 年度が 1,340 名というように減少がみられます。ただし、一つ一つの学校を見ると若干相違があっており、たとえば山田小学校でいえば来年度が 81 名ですが 36 年度には 35 名になる予定です。田平北小学校でいえば来年度が 240 名ですが 36 年度には 269 名になる予定で、学校

	<p>によって全く違う状況であります。中学校についても同様な傾向が見られます。市全体では減少傾向ですが、個々の学校で相違があるという状況であります。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。市全体の人口そのものが減少傾向にありますので、ある意味いたしかたないのかなと思います。しかしながら、少子化対策ということでいろいろと施策は講じておられることと思います。先ほどの給食費の改定案につきましてもやむを得ないとは思いますが、やはり保護者としては、お子さんが多数おられる場合はどうしても経済的負担になってしまう要因になってしまうのではないかなと思います。そのあたりも含めて何らかの少子化対策が講じられればいいかなと思いました。</p>
<p>教育次長</p>	<p>現在は、準要保護制度の関係で保護者の全世帯に申込書を配付し、申請を受付するようしております。従来7%くらいの率であったものが現在は11から12%程度になっておりますが、そういう意味では準要保護制度に給食費も含まれていますので、経済的支援には努めているつもりでございます。給食費を改定することとは別問題ではあるかとは思いますが、以前よりも4～5%増えていますので、該当するご家庭はおられるのかなというふうには思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>次回の定例会の日程について事務局案をお願いします。</p>
<p>教育次長</p>	<p>予定としまして、1月22日（火）の午前9時30分から生月支所3階第2委員会室でお願いできればと考えております。来年度着工予定の生月町中央公民館の概要及び現地視察を時間があれば生月地区の社会教育・体育施設の視察をお願いできればと計画しております。どうぞよろしく申し上げます。</p>
<p>教育長</p>	<p>日程については、よろしいでしょうか。</p> <p>（「はい。」の声あり。）</p>
<p>教育長</p>	<p>では、次回定例教育委員会を1月22日（火）の午前9時30分から生月支所3階第2委員会室で開催ということで進めさせていただきます。</p> <p>それでは以上をもちまして、予定されたすべての議題が終了しました。委員の皆様には、この一年間大変お疲れ様でした。来るべき平成31年が皆様にとりまして輝かしい年となりますようご祈念申し上げまして、本年最後の定例教育委員会を閉会します。</p>

午前 11 時 00 分 閉会

平成 30 年 12 月 20 日

会議録署名人

署名人 委員 _____

署名人 委員 _____

会議録調製職員